令和５年１０月臨時会　諸般の報告　開会挨拶

失礼いたします。
皆様おはようございます。
本日、ここに議員各位の御参集をお願い申し上げ、令和５年第５回江田島市議会を開会するに当たり、御挨拶を申し上げます。
議員各位におかれましては、平素から市政運営に対し、格別の御理解と御協力をいただきまして、深く感謝いたしております。
また、市民の皆様には早朝から、議会の傍聴にお越しをいただき、心から御礼を申し上げます。ありがとうございます。

長く暑かった夏も過ぎ去り、ようやく秋晴れの陽気が心地よい季節となりました。
近年では、梅雨時期の集中豪雨や季節外れの大型台風などに見舞われ、過ごしやすい春と秋の季節が短くなっている様に感じております。
これから秋も深まり、一段と朝晩の冷え込みも増してまいります。
市民の皆様方におかれましては、体調の管理には十分御留意いただきたいと思います。

さて、秋の行楽シーズンとなり、各地では、スポーツや文化、また、食をテーマに、様々なイベントが催されております。
本市におきましては、今月１０月１５日に、恒例の「第３６回ヒロシマＭＩＫＡＮマラソン大会」が開催をされ、市内外から１,４８６名のランナーに御参加をいただきました。島の景色とさわやかな潮風を感じながら、思い思いに走りを楽しんでいただけたことと思います。
また、翌週２２日には、半世紀前に橋で結ばれた大柿町と対岸の音戸町の住民の方々が協働して、昭和３０年代、当時１市６町の悲願でありました夢の架橋、命の橋、早瀬大橋開通５０周年を祝うイベントが開催をされました。
これを契機に、早瀬大橋が結んだ縁を紡ぎながら、互いの地域が発展することを切に願っております。
さらに、先週土曜日２８日には、海上自衛隊第１術科学校を舞台に、自衛隊記念日行事と合わせて、オータムフェスタ江田島 2023 及び江田島湾海上花火大会が開催をされ、イベントの華となる大輪の花火が秋の夜空を彩りました。
この花火大会は、毎年、多くの市民・団体や企業の皆様からの御厚志により、成り立っております。これからも、本市最大のイベントとして、官民一体となって、市民の皆様に感動をお届けしていきたいと思います。

お蔭様で、わがまちを盛り上げようとする、これらのイベントのすべてが清々しい秋晴れに恵まれ、市外から訪れた方にも、島の穏やかなひと時を過ごしていただけたものと思います。

イベントの開催に当たりまして、御支援、御協力を賜りましたすべての皆様に対しまして、心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、本市では、新年度に向けた予算編成作業に着手したところでございます。

市の財政状況を見てみますと、令和４年度決算では、歳入の根幹をなす市税収入は若干の改善が見られるものの、地方譲与税をはじめとする交付金や地方交付税などは減少しており、依然厳しい財政状況が続いております。

さらに、今後の経済情勢を見通しましても、先行きの見えないガソリンなどの燃料費の高騰や物価高などが、市民の皆様の生活に影響を及ぼしていくことが懸念されます。

こうした厳しい環境の中にあって、常に市民の皆様の日々の暮らしに寄り添いながら、安定した財政運営基盤の確立に取り組み、新たな道を切り開いていかねばなりません。

本市は、来年、市制施行２０周年を迎え、次なる１０年を見据えた、時代の大きな転換点になると考えております。

明るい未来に向けた新たな一歩を踏み出すために、市民、事業者、議員、行政が一体となって、取り組んでいかなければなりません。

引き続き、議員各位の一層の御支援と御協力をお願いいたします。

９月開会の定例会以後の市政の主な事柄につきましては、市政報告書のとおりでございます。よろしくお願いいたします。

以上で、報告を終わらせていただきます。